

奥津軽の歳時記

奥津軽 虫と火祭り

「虫おくり」という民俗は津軽西北地方に残る稲を病害虫から守ることを目的に伝わる慣習です。「永禄日記」では、1627年6月の記事に、稲虫がおびただしく散在で、虫祭りが行われ、藩でも7日間の祈禱を行ったとあります。また、イナゴの大量により、西北地方の稲が全滅したことが起こりといわれています。

虫送りの「虫」は龍蛇体状の物で頭は主に木造り、胴は藁で造られ、大きい物では10メートルにおよびます。「奥津軽虫と火祭り」は虫送り行事をメインに、各々の土地に伝わる早苗振等の伝統芸能を披露し、虫を曳く祭りです。また、若者たちによる「松明御輿」、夜には虫に火を放ち昇天させる神事も行われます。

奥津軽 虫と火祭り



河原神事・虫の昇天



道の駅十三湖高原まつり

- 期日/8月下旬の日曜
- 場所/道の駅十三湖高原
- 交通/JR五所川原駅より車約50分
- 問/道の駅十三湖高原 ☎0173-62-3556
- 地図/P18:C-3

道の駅十三湖高原まつり

十三湖名産ヤマトシジミの販売や、しじみにこだわったクイズ、ゲームなどを開催。恒例の人気イベント「しじみのすくいどり」(有料)はくじで大当りが出るとジャンボスコップ、はずれはミニシャベルですくいどりでできます。



部落に入る場所の高い木などには虫を揚げ、虫除け、豊饒を祈願。



農耕と虫を表した「相内の虫送り」



奥津軽の施設と景観

脇元海辺ふれあいゾーン

脇元地区は、かつて鯨漁を生活の糧に暮らしていた町です。年月が経つに連れて漁場は北上して北海道へと移り、昭和20年頃から衰退の一途を辿りました。現在、往時の姿を偲ばせる「鯨御殿」が復元され資料や当時の漁具などが展示されています。また、魚介料理が楽しめるサマーハウスや、ひばのログハウス風バンガローもあります。



脇元海辺ふれあいゾーン

日本三大美林のひとつ「青森ひば」が広がる奥津軽の森にはかつて、日本で最初の、そして総延長320キロメートルという日本一長い森林鉄道の軌道が毛細血管のように敷かれていました。文豪・太宰治が繊細で鋭い感性を育み、津軽三味線の原型が生まれた奥津軽の経済を支えた豊かな山々。今なお残る軌跡をたどり、歴史や文化を感じて、豊かな自然に癒されるトレッキングが楽しめます。「山伏の荒行場コース」「太宰ゆかりの地コース」「みちのく松陰道コース」「青森ひばの神木コース」ほか、全8コース。ヘルスツーリズム認証プログラムによる「D A Z A I 健康トレイル」も提供しています。(地図/P16)

みちのく松陰道コース



太宰ゆかりの地コース

大沼公園

市浦地区、唐川城跡のふもとに位置し、大沼を中心に一周コースが整備され、湖沼や湿地林の動植物の観察に適しています。コースには「縄文の橋」と日本一長い屋根付の「東日流館橋」があり、変化に富んだトレッキングが楽しめます。近辺には中世に建造したとされる「日吉神社」があり、奥津軽の自然・歴史を満喫できます。



中の島ブリッジパーク

十三湖に浮かぶ小島「中の島」には様々な施設が集結している「中の島ブリッジパーク」があります。シジミ採り体験ができる遊漁場、十三湊の繁栄や郷土の歴史をストーリー構成で展示する「市浦歴史民俗資料館」は必見。



裸参り

12月30日(元日)にかけ市内で行われます。若者達がふんどし姿で百キロもある大締め縄や三俵、お供え餅や食べ物などの供物を持ち、神社へ奉納するまでの間、村内を練り歩きます。



津軽すこっぷ三味線世界大会

すこっぷ三味線は、家元・館岡屏風山が昭和60年に開発した宴会芸。誰にでも手軽に楽しめる芸として親しまれ、毎年12月には「すこっぷ三味線世界大会」も開催されています。大会では全国各地の奏者や外国人が熱演を繰り広げ、津軽のみならず全国的に広がっています。

脇元岩木山神社大祭

「霧山」(標高152メートル)は江戸時代より「脇元岩木山」として信仰され毎年、豊作大漁を祈願して大祭が行われます。



Y・C・M吉幾三コレクションミュージアム

- 時間/9:30~17:00
- 休館/8月13日、12月31日~翌1月1日
- 料金/一般800円
- 交通/JR五所川原駅より徒歩約5分
- 問/☎0173-26-6686
- 地図/P17:C-2

五所川原市金木町出身の歌手・吉幾三が歌番組やコンサートで実際に着用したステージ衣装や愛用ギターのコレクション、直筆の書、舞台やドラマの台本などゆかりの品々を展示。貴重なプライベート映像も鑑賞できます。オリジナルグッズはお土産にも人気です。

3万株の花菖蒲

花菖蒲の名所「菊ヶ丘運動公園」。69品種、3万株が華麗な花を咲かせます。スポーツ施設や図書館等の公共施設も集合しています。



菊ヶ丘公園の花菖蒲

北限の梅林

約2千本の「北限の梅」が咲き誇る「津軽フラワーセンター」。夏のバラ、秋の紅葉も見事な彩りです。



狼野長根公園

奥津軽 虫と火祭り

- 期日/6月第3土曜
- 場所/五所川原市中心街
- 交通/JR五所川原駅下車
- 問/五所川原青年会議所 ☎0173-35-4049
- 地図/P17:C-1~2

脇元岩木山神社大祭

- 期日/旧8月1日
- 場所/市浦脇元地区
- 交通/JR五所川原駅より車約1時間
- 問/お山参詣保存会 ☎0173-62-3536
- 地図/P18:A-1

津軽すこっぷ三味線世界大会

- 期日/12月上旬
- 場所/ELM(ショッピングセンター)
- 交通/JR五所川原駅よりバス約15分
- 問/すこっぷ三味線世界大会事務局 (ラヴポーション2内) ☎0173-34-2339
- 地図/P17:E-3

裸参り

- 問/五所川原市商工観光課 ☎0173-35-2111
- 地図/表記なし

奥津軽トレイルガイド

- 料金/半日8,800円、1日16,500円※ガイド1名に対し10名以内
- 問/かなぎ元氣村 ☎0173-52-2882
- 地図/P16 奥津軽トレイル参照

脇元海辺ふれあいゾーン

- 期間/4~9月
- 料金/鯨御殿宿泊4,000円、バンガロー宿泊8,300円
- 交通/JR五所川原駅より車約1時間15分
- 問/☎0173-62-2775
- 地図/P18:A-1

中の島ブリッジパーク

- 期間/4~11月
- 料金/ケビンハウス宿泊1棟12,500円~15,000円
- 交通/JR五所川原駅より車約1時間
- 問/☎0173-62-2775
- 地図/P18:C-1

大沼公園

- 交通/JR五所川原駅より車約50分
- 地図/P18:B-2

狼野長根公園

- 交通/JR五所川原駅より車約20分
- 地図/P16:F-3

花菖蒲(見頃:7月上~中旬)

- 交通/JR五所川原駅より車約5分 ● 地図/P17:E-1

北限の梅林(見頃:4月中~下旬)

- 交通/JR五所川原駅より車約25分 ● 地図/P16:F-3

● 大沼公園についての問/五所川原市市浦総合支所 ☎0173-35-2111 ● 北限の梅林・狼野長根公園・花菖蒲についての問/五所川原市都市・交通課 ☎0173-35-2111